

第2回 練馬区立春日町第三保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

春日町第三保育園視察

平成24年5月22日(火) 午前9時30分～11時

出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、春日町第三保育園長、
事務局(保育計画調整課長)

1 園長より春日町第三保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 異年齢交流は行っているか。

A なかよし三兄弟(異年齢交流)は3歳から5歳の組み合わせで、月2回程度、午前中に行っている。なかよし三兄弟全体をさらに3グループに分けて、そのグループ毎に活動内容(散歩、リズム、音楽、話し合い、会食等)を決め行っている。

Q なかよし三兄弟の組み合わせはどのようにして決めているか。組み合わせが変わることはあるか。

A 保育士が園児の個性などに配慮して決めている。5歳児が卒園すると、3歳児が新たに加わるが、新5歳児と新4歳児の組み合わせは変わらない。

Q なかよし三兄弟の親同士の交流などはあるか？

A 保育園からは特に働きかけは行っていないが、バス遠足時など利用し、なかよし三兄弟の紹介など出来るかと思う。三兄弟の親同士のつながりも出来てくるかと思うので今後検討したい。

Q 春日町第三保育園で特に大切にしていることは何か。

A 聴く力を持つことを大切にしており、集中力につながると考えている。

Q 年間指導計画にある幼児の課題を持った活動とは具体的には何か。

A 動と静の活動を大切にしている。例えば静の活動であれば、絵画の際、子どもが何を描いたかだけでなく、何を描こうとしたのかという子どもの気持ちを大切にしている。その気持ちを保育士が聞き取り、絵の説明に加えている。また、乳児期から手先の活動(切る、折る、こねる等)を行ったり、絵本等を通して表現活動につなげたりしている。動の活動であれば、音楽を使った活動や乳児期からリズムをしたり、運動器具(マット、飛び箱、鉄棒等)を使用したり、外遊び、散歩などを通し運動面の活動を行っている。運動面は、運動会があるから行うので

はなく、日々の積み重ねの中で行うようにしている。

Q 運動会はどこで行っているのか？

A 毎年園庭で行っている。今年度は、大規模改修があり園庭が使えないため、練馬小学校の体育館を借りて行う。

Q 卒園式や大きくなったね会等の行事はどこで行っているのか。

A 保育園のホールで行っている。

Q 絵本コーナーは活用されているか。

A ほぼ毎日、貸出しされており、好評である。今年度は大規模改修があり、仮設園舎に移るため6月は利用を中止しているが、仮設に移ったらまた貸し出しをする。

Q 昨年行われた「ぶどうカフェ」とは。

A 毎年5歳児が中心となって、園児を招待する様々な催しを行っている。昨年は5歳児であるぶどう組で名前を考えた「ぶどうカフェ」を行った。

Q 大規模改修により変更となることはあるか。

A 0歳児（14名→12名）と1歳児（15名→17名）の定員の変更を行う。練馬区の待機児童は1歳児が最多であるため、1歳児の定員を増やすこととした。大規模改修により1歳児室は2部屋とし、低月齢、高月齢でグループ分けを行う。また、1歳児室と2歳児室には室内にトイレを新たに設置する。教材庫を他に移すことにより、5歳児室（ホール）を多少広くすることができる。

Q 最近、他の自治体で通園時や散歩時に、車が突っ込む等の事故が発生しているが、保育園で何か対応を図っているか。

A 事故後、すぐに職員会議を開催し、散歩ルートの中に工事現場があれば避けて通ることや、ガードレール等がない等の危険な箇所を確認し、散歩ルートの見直しを行った。

Q 散歩マップやルートは保護者に伝えているか。

A 散歩マップは園のしおりで紹介をしているが、ルートまではお伝えしていない。連絡帳や園だよりなどで、散歩に行った公園等を保護者に紹介している。

Q 事業者への引き継ぎも想定して、散歩に行く公園の全景や見どころ、ルート上の危険な箇所、地震の際の避難場所へのルートも散歩マップに示しておいたほうがいいのではないか。

A 安全・安心マップ等の作成は課題としてとらえており、内容も含めて検討する。